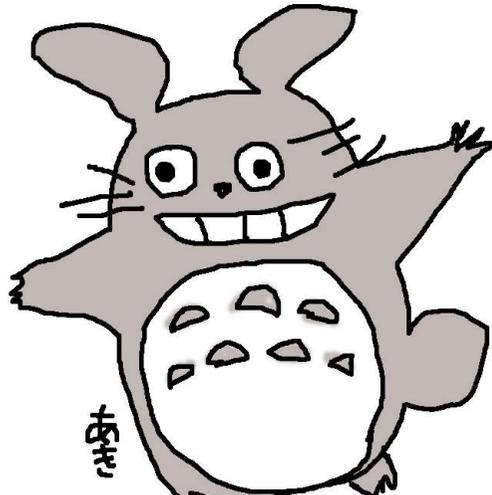


# 総合医療論

## 第6回

### 健康科学

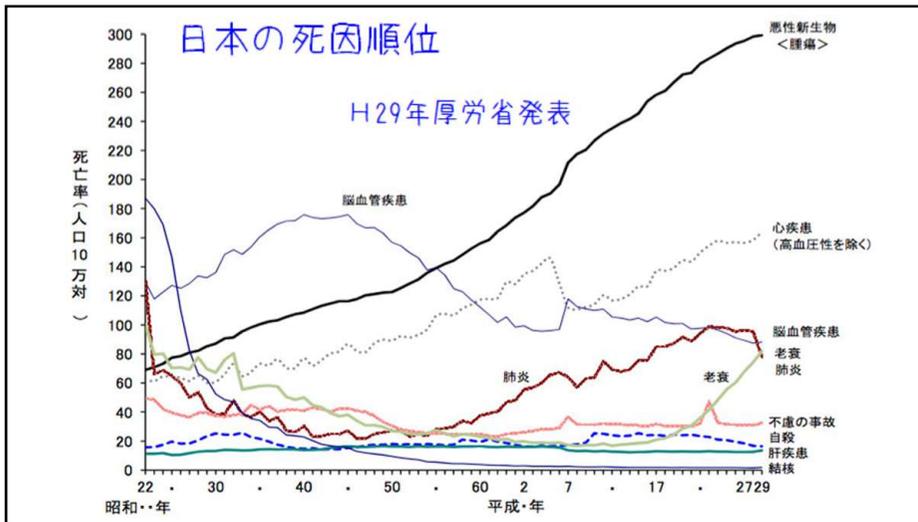


### ライフサイエンス (生命科学)

生物体と生命現象を取り扱い、生物学・生化学・医学・心理学・生態学のほか社会科学なども含めて総合的に研究する学問。

↓

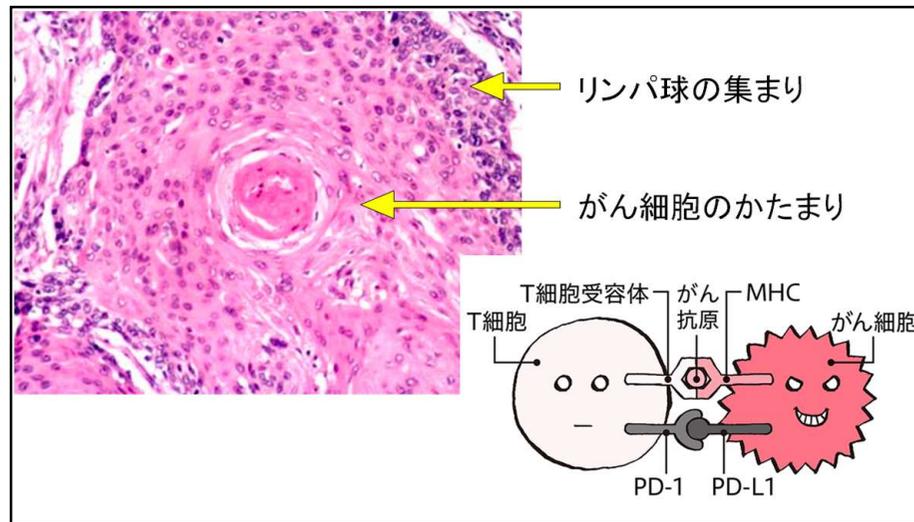
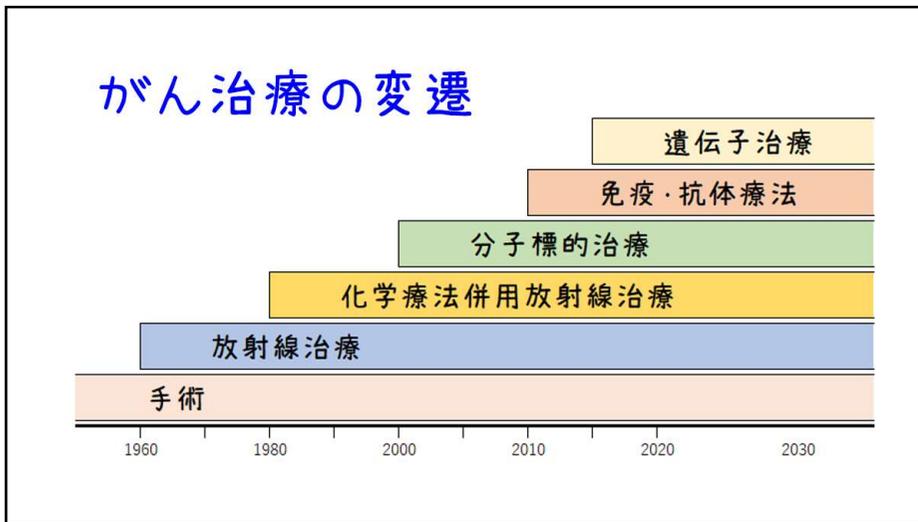
遺伝子の塩基配列から得られる情報が知識。  
 ヒトの遺伝子は分析が完了。(1953~2003年)  
 DNA暗号解読が進んでいる  
 疾患とDNA情報の分析が進んでいる  
 DNA以外での統合データベース進展中



### 日本の がんによる社会損失は大きい

がん発症者	がん死亡者	がん罹患率	継続治療者
年間 102 万人	年間 38 万人	男性 66% 女性 50%	約 178 万人





がんっていうのは、1人の体の中で、3分間に1個がん細胞が発生しています。

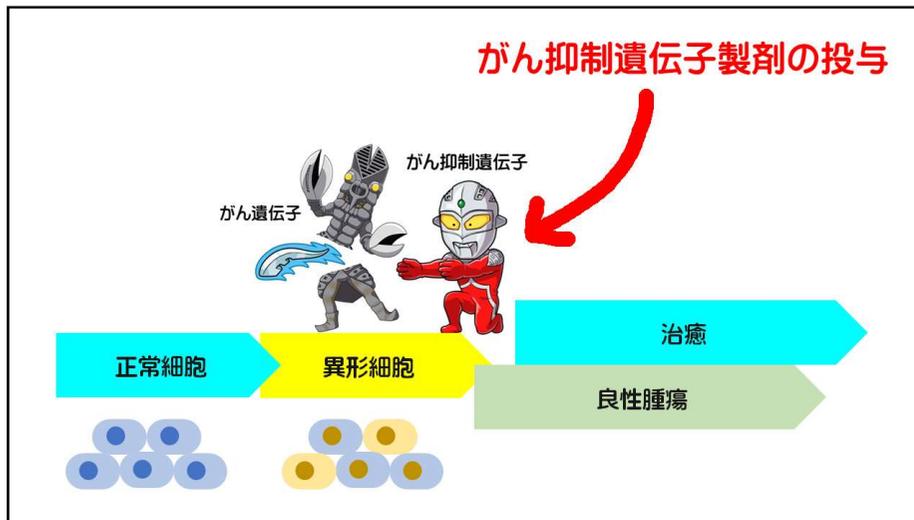
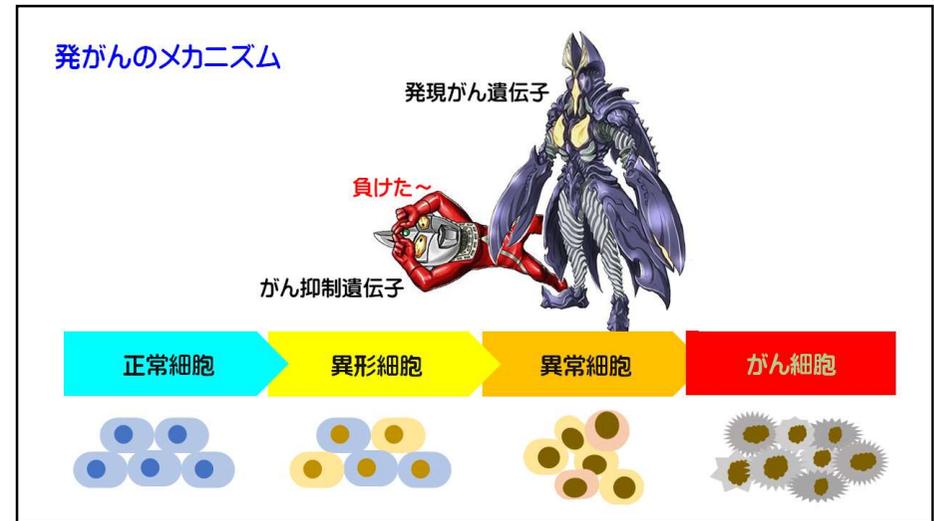
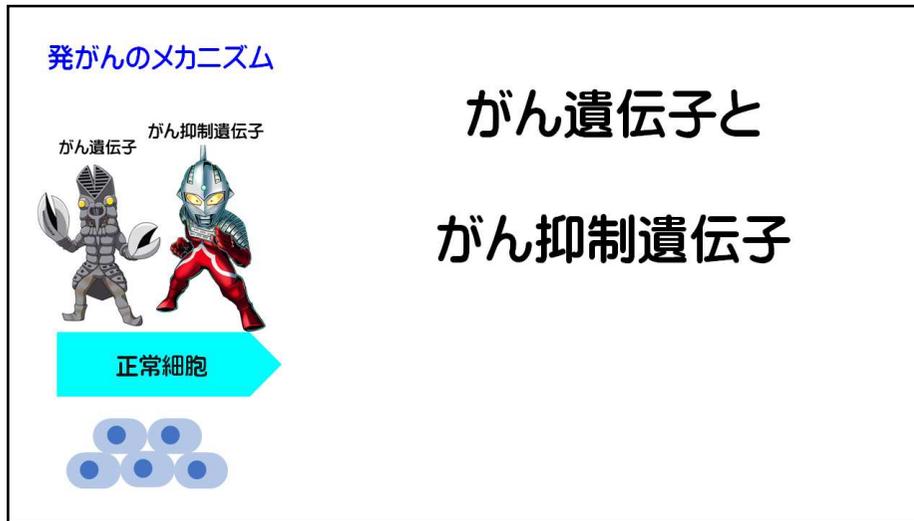
多くは、がん抑制遺伝子が働いて自滅して、自滅しないがん細胞はリンパ球に攻撃されます。

でも、免疫チェックポイント分子を持っているがん細胞はリンパ球から攻撃されないのです。

この免疫チェックポイント分子の阻害薬を作れば、がんの特効薬になるはずです。

本庶 佑(ほんじょたすく)先生  
2018年 ノーベル賞受賞

免疫は、「自分」と「異物」を見極め、異物を排除するシステムです。異物があると、免疫担当細胞が異物を排除しようとします。がん細胞は「免疫チェックポイント」を利用して、免疫を止めて増殖します。免疫チェックポイント阻害薬は、止められている免疫反応を改善させる働きがあり、代表的な薬剤名として「オプジーボ」があります。



ヘルスサイエンス

健康科学とは、人間の「**こころ**」と「**からだ**」の関連性に着目し、その心身相関が示す諸現象を科学的に体系づけ、人間の生涯にわたる「健康」を総合的に考えることを目的とした研究領域である。

これまでの「**医学**」「**栄養学**」などの領域に加えて、**脳科学**、**ストレス科学**、**精神科学**、**文明科学**など多様な**マクロ領域を統合**し、生命現象のメカニズムを解明する最先端科学といえる。

## ヘルスサイエンスが健康寿命を延ばす

健康寿命とは、医療・介護に依存しないで、**自分の心身で生命維持し、自立した生活ができる生存期間**のこと。

WHOが2000年にこの概念を提唱した。  
平均寿命から医療・介護に依存して生きる期間を除いた期間が健康寿命ということになる。

日本は憲法第25条において、社会保障政策を充実させることにより健康寿命を延ばす努力をしている。

## 憲法第25条

すべて国民は、**健康で文化的な最低限度の生活**を営む権利を有する。

国は、すべての生活部面について、**社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進**に努めなければならない。



### 森戸辰男

広島県、福山藩士の二男として生まれる。  
第一高等学校長の**新渡戸稲造**に感銘を受ける。  
1914年、東京帝国大学法科大学経済学科卒業。  
社会科学(社会問題)を生涯の研究課題に選ぶ。  
経済学部を設立。教授となる。  
1917年、ロシア革命発生。1920年、ロシアの無政府主義者・クロボトキンの「社会思想研究」を展開し、国から攻撃を受け東京大学から追放され巣鴨監獄の独房で3ヶ月を過ごす。

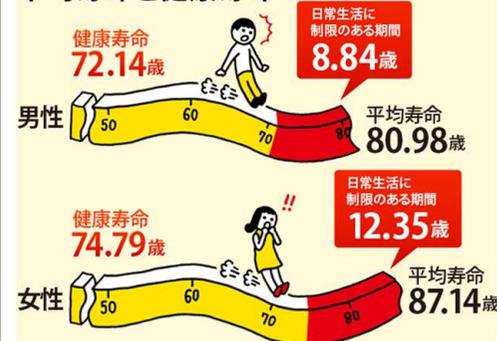
釈放後、大阪の**大原社会問題研究所**で権威を高め、その後1937年東京に移転。  
敗戦(1945年)の秋、GHQは新憲法草案を募集。森戸は「憲法研究会」を組織し**二ヶ月後**の年末に「**憲法草案要綱**」を作成し応募した。  
最も早く、完成度も高かったためGHQ草案として採用された。

1946年、衆議院議員選挙に出馬し当選。議員一期で政治家に向かないことを理由に教育に専念。広島大学初代学長。

## 老人の医療と福祉

2016年データ

### 平均寿命と健康寿命



平均寿命と健康寿命の差がもたらす負のインパクトは、**社会に大きくのしかかる**。

厚労省推計では、社会保障費のうち医療給付費は、2016年度の**44兆円**から、団塊の世代が後期高齢者(75歳以上)となる2025年には**54兆円**に拡大すると指摘。

現在、介護給付金(**20兆円**)と合わせると社会保障給付費全体の**約50%**を占め、年金(40.6%)を超える規模になっている。

ライフサイエンスのおかげで  
難病治療に対する成果が出てきています

ヘルスサイエンスのおかげで  
平均寿命と健康寿命の差が縮まって  
医療費の抑制に少し貢献しましたが  
でも、超高齢問題が起こっています

近年の新型コロナウイルス感染症は  
これらの進歩の盲点を突かれた感じですね  
でも、

14世紀のペストによるパンデミックよりも  
はるかに死者や死亡率は低いので  
生命科学・健康科学の進歩で  
人類は救われた感があります。



## 次回予告 日本の医療制度

